鬼神を実かしむる数多出頃で

めらゆる医療を危機して成果を加

私はこゝに賭選とともに山本元郎 あればこそ大東龍競集は必ず勝つ あり、またこれら調小に続くもの

られてある、殊に出本職合監

とともにひだすら派或解解の一路

かに過越しもつて勇士の忠然に應へ 会や可殺威の下大東亜に対ける

以上の前側に射視しる広辺に あくだでも会力を感り確信の下に なくいよく 必動の確信の下に なくいよく 必動の確信の下に

現下大東面の動向を大置まいたレーカイを放ってある。

統の國民性の原理を設揮するの秋

臣行忠恐懼ノ至ニ任へス選 ノ任ヲ郷シ以テ 将兵は御稷威の下断大なる職

ものはないのである、之らの野土さるの厳悟をいよいよ新にせざる

萬難排

直に契明し結関は大貞師上版の武とともに米郊の荘野を除解し戦輸売後に基づせんと繋続さる法蒙を実置し、さらに内医問題に願して内路取録すればち郷、戦。寒をせじめ比喩・ピルマ、貞태度などの動所とこれに対する祇園の 一戦と長職化された施蝦の武器を循明率

製造品を行び密國政府の所信を登えと 中外に闡明した、即も質相は、大東電脳等の音級な 現販院と取應する大東距離部の現狀と共衆國

東京衛店】東陳首相は第八十二臨時間密の開窗

なはじめとして内治別政の際国にわたり必顧の確信をもって職主人思聴戦戦を限功波がわじ、する認識の決定を採めて発揮に内がに動則の施戦を集けて戦力堆前脚たんがための目的に集中連続せんとする不断の決意な姿明した。しかして、熱相減認は大異語書語方報の観明

議側即上應更的な意識をもつ

東大演説として多大の

感動を

映へた

島 を夜襲 少野を説問いたし、親しく現地の 私は最近中感財國、瀬淵國および を記していません。 質相に関乳県路の人々とも隔窓示 最にして自境的なる協力は日に

十三日夜日本軍夜間爆撃機隊がガダルカナ ル島米軍基地を爆撃した同士五日公表した 「プエノスアイレス十五日問題」ワシントン來簡=米國海軍衛は

首相堂々大東亞の新政策闡明 屈服の手段を推進 中すまでもなく大泉配を米英の多 (この方針に則り 終始一 質して この価値を強くいたしたのである の姿に違らしめんとするは帝國 一の桎梏より永久に解放しその本

戦力增强に施策集中

配の解放なく新しき大東區の建設 なくして大東配民衆の脳靴なしと する確信が必辞として起りつゝあー

は諸國家諸民族の信倚と協力に限

るのである。

私國といたしまして

共榮圏の各國協

砂設日ヲ逐ヒテ進ムヲ見ルフ級揚セリ而シテ大東亞ノ され國民上下一致常國に對する物 で視るに親邦をもつてし 畏くら

然りト鍵モ今ヤ時局河ニ事ンハ鷺ン是ノ加キヲ得ムヤンハ鷺ン是ノ加キヲ得ムヤ医下ノ内側ニ繋ルニ非ラス 心財方面の協力まことに大なるも 中國民の中國の理測は特に領域 四地國民の中國の理測は特に領域 四地られつ、あるのである。長辺 はられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられて、一般 ではられている。

用窓あることをとくに表明するも

國民多年の領域にもかんがみ當國

を加へるに至った、大東郎におけ

する段間はますく

市温度社の度

る必勝の感慨に立ち一度國民が國

勝へス臣等頭テ

比島はバルガス長官以下東路の人

もとに獨立完成のため大いなる苦

☆嶋田海相 只今は アライ

夫の民族に願じてこれまた本年 激吹とる国を本国に妥明したの ライ、スマトラ、ジャワ、ボルネ 酸液であらうか。而も進んでマ 全面の密々厚からんことを整ひ ある。その他盟邦滅が國との 衆の政治参與に関する措置を には原住民たるインドネシャ

然に恐懼を難するに

と墓医解上の馬氏を御法則もら

然るに、大東距板手の削金にはざる所である。

直回してゐる。今次第八十二四

くし、今こそ一僚総蔵起の秋に 戦局は髂尺一大決戦的機相を激

ふる國民の念はたど一つ常在歐

いかで配慮を安んじ率らずして

は増かないやうな氣臓に充ち消圧を更に心底からゆすぶらずに

レ威竇挺身レクスある一億図

ちてゐるものであつた。

悪代に生を享くる一家の者に

場の心もで各々その殿域に圏穴

段階から脱き回し、大東亜西

ものであって、ころにこそ彼時

別的と思ふっ 有難き悪敵のほど 臨めらせられ、親しく魔温なる き第八十二線時後會開院式に親果願必勝の國内態勢を確立すべ

製くも 天皇陛下には十六日

い。いふまでもなく一個國民の が要請されたことにほかならな

必勝不敗の國内閣場の確立

慈國策の諸案に對して和扱審議

の民衆が火の玉となって、

協数の傾命を果さればなり

軸に基づく大原耶威争の現政院 く組骸しつへあるを御棄協あら

に深き大御心を無れさせ給ふか

れらの全身全蔵は窓々必勝の信

限の能たる決議職會は開發され 政演説は、正にこの決職政階に た。劈頭に於ける果條首相の施

首相も認ける如く今や御寮医

の下、大東亞における帝國の瓜

大東龍共衆國は勿論全世界

相の演説 嚴肅なる首

> **阿朗に立つ書の皆然の態度とは** がしたのである。 その管轄の堂

優渥なる勅語を拜す

寅院における東條首相の施政演説

(民選)

決議案文米英軽派の明報

軍を代表して影響を述べるが、殊 明全會一致をもつて可決、これに 町し東原陸相、帰田海相より陸海

> する感謝決議は左の如くである 【東京起語】 貴族院の陸海軍に 貴院感謝決議

必勝態勢嚴然たり

衆院感謝決議案を可決

火に燃える倍東して販力の境の回る場合で、大きなの連絡決議に在るそので、大きなの連絡決議に在るそので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きなので、大きな

く極震の跛を致し、併せて財肝以て符國喧渾軍の傷敵に對し深、炎難院は特に廃棄をどるなし、衆難院は特に廃棄をどるなし、衆難院は特に廃棄を

【與京館話】東縣鐵攝陸相、

に即應し屋海空電路兵に對し城市の職に報告 【東京既語】聚職院では十六日本|

あるから、その物態力の全力を をつて 酸米斑も死に 署狂ひで 距の平和を撮影する者の息の根 る最重は、風難を挑し致るとこ 以談をめぐらして、我に一大反 挙ひにして神のみいくさた し、寮國に就ては軍事、經濟、文 又ピルマに就てはその孤立の なる協力をなす旨を包明した。 戦セレめる用敵あることを表明 行ひ、開國民の發展のために新 加へ、阿國の協力機能を一 諸民族に、絶大の数喜と希望を 化の各方面に良り一段の協力と は資邦中華民國に對しては、 へたこと、信ずる。特に質相

職に對し陸海軍を代表して左記要可決された陸海軍に對する感謝決 海相は十六日の黄衆院本の議所

基く関國投機の緊密を切譲され 而して一方首相は歐洲に於てに 帝國の大東亞建設の基本方策は

を 後援に感謝 る後援に感謝な

●東條首相、只会全會一致を関うたとは監察大臣と力を関うたとは監察大臣と力を認ったとは監察大臣と力を認った。 (2000年度 100年度 1

勝利を際信されたのである。 成功は既じて嫌ひなき旨を附回 家の魅力を結集して、戦力の飛 漢を細立し、以て央頭につぐ忠 顕的増殖に備へ、必勝不敗の態 配のこの段階を勇猛果敢に頭り して、以て東西權軸國の最後の 能ふに今決取職會の眼目は國

臓魔長より全院委員長の疑院規制第十四條を適用、

・ 今や内外の情勢、部に重べたもるで の重大なる衝勢下において一個 を の重大なる衝勢下において一個 を の重大なる衝勢下において一個 を を を の本分を全 を の本分を全 を の本分を全 の本分を全 の本分を全 の本分を全 切らんとするにある。内政問題 等いつれも重大ならぬはないが としての企業整備食糧増産問題 食糧劃期的增產 る、この秋に館り政府は一個國民 全力を整して一路征戦必厥に突進である、職場の將兵の心を心とし する響ひを新たにしてゐるのであ ひを必ず實際に移さんことを期す 政府陣頭に挺身せん 所各自の能力を巡憾なく破揮し得 をより一個國民に指導の増別 に背宜の副語に発力してゐるが 理にしの選不職職費力の抑制、 国家選議院中推得がにつきしい したが一番の第2と特許せられ たが、また順時費力の抑制。 る如く物極的に協力せられんこと 全級の協力を絶對必要とする、國

し一日も早く魔師を完了し遊林節は歴史し龍匹ともに民は十分政府の数のある所を諒となきものは悉くこれ 感逝せんことを期してゐる

東京族院、本・宣言部 (東京寛彦) 士六日の遺族院本句 に真 (東京寛彦) 七八日の遺族院本句 に真 り、

で、(火服) 遊繁理由の説明を行び決 を (火服) 遊繁理由の説明を行び決 ・ (火服) 遊繁を上風、闘雄思重公 ・ (火服) 遊繁を上風、闘雄思重公 より投別で台階して前隣會領り に決定ののも同二時十分単係首 日本 第二十五分 に直り施方行動散を行ひ。つ いで破児利告し移り原体婚姻内 相、鳴田海相次いで登場別項の 如くそれくり和告があり り決勝に對しそれ(・臨海軍を代 【東京範囲】十六日の衆議院地方

学和亚统是上市 京城府本町二

戦下 0 處

衆

ける質量版権の強調各級に対す、関目でその十六日級販院発気総會的所に対して関目でその

必要と考へてあるのである、今そ の主要なるものにつ会政府の所信 とすることをこゝに中外に闡明す

土面にわたりさらに一段の協力をいるの一部國の軍事、經濟、文化など各方で、回國との提携を含後いよく一般にして、 下に多しく樹立の幻影を逐うてゐる、かって米國の不信なる支配の た比圏民衆は大規語戦争勃後以來

同目的達成心邁進

トラ、ジャワ、ポルネオ、ゼレベ 燃々として協力の度を増大しつく スなどの原住民は皇辺の軍政下に

は、明び今や筆を返して大國のためその意識支配を導へ、その間何らのの意識支配を導へ、その間何らの

後九時八分秘密町を解ぎ、小川姿一

企業整備措置法

糧管理特別會計法案

共に委員會附託こなる

動計算、外交政策などにつき説明 案理由の説明を行ひ、小川委は長

した岩野申入れがあった。町を飲 より『政府より製器回において物

して八時二分秘密重認に入る、午

通り可決同十分徴旨した 的議を省略して全面一致政府原案

恥ぢない諸虚無版なる行動に対

衆院勅語奉答文

善盛してゐるが、特國は共同防傷

大東亞に着 0 々と具現

案を跳翻、高場起立してこれを可

過ならびに結果を報告、整答文成

一、朝鮮食食品

朝鮮 食地質期 特別預計法案

よりそれらく経案理由を説明、委

と か、印度の自由と類似といるされた 質別せられ、米英明力は匿気化ら 存 質別せられ、米英明力は匿気化ら 存 たる決意をもつてゐる、しかして一る日の遊からざることを信じ、 盟邦との 待する

| 類取に儲める東部の民衆に確かし 具現せられ、多年米英の融くなき

の堵に安ルゼしむるわが常園の大の所を得しめ、兆民をして悉くて

理想は指々として大規範の天地に

では、 で大果型の整國家、路民族が選し をはじめ盟都副國は常國との総東 学過度す動る所卒和を推動し際 き酸明に深つたのである。かくし 翻つて取測してある。今日までに認 き込まんと短乳してある。彼ら に度がたほぶ國の奇職なる範疇の つて取測してある。今日までに認 き込まんと短乳してある。彼ら 歐洲路國の雄軍なる威争逐行に對 接の参加を強けて他國をその矢面他國を続つてともに取かや自ら直 き込まんと紅飛してゐる、彼らの に立て、しかも駆ひ一度利むらざ を過ばず到る所平和を機能し随時 ればごを弊機の如く捨てて願みず

ては天人ともに許さざる所で 午後四時二十一分四周、明顯原條

大郷 一龍 藤田 日、角田 彦田 の 成成最古が大郷 一龍 藤田 石 戦後 観し 一龍 政方針 演説を行ひつざいて 耳儀 割し 神経 地震 漢院におけると 同様のす中 一畝相登地 黄炭院におけると 同様の 振獅匝相、鳥田彦相の阪祝報告が 温泉を可決、職長の破滅によ 四田僧也氏(茨城)趣旨総明を行 **%勝兵に割する感謝敬事の前念を** い総員地立、全面一致をもつてみ に倒する放用決議案を上程階海軍に対する感覚並に救夷 職費となる 生命保険 貯蓄となり

延去に関する法律案(政府提出)で、近、府、協会職員などの任期が出まり深盛なる關意を表明ついでよ 安藤内相より提案理由の説明を行 い、これに對し東條隆相、頓田海

また一正)同党医威和より提案理由を記 南一致可决 関する法律案(同)

貴族院、中前十時本質部で 開き機能等より気勢された地方選 開き機能等より気勢された地方選 展院は自動な田市区の二弦楽を 緊急上海、提添理由の説明が払う でほうにも特別委員會は 地方提展、韓福軍衛行法委員會は 地方提展、韓福軍衛行法委員會は では、現本第五国衛行権で 会員及、現本第五国衛行権で 会員を 大切同日中に盧城が終了する 本日の両院

項を陥りこれを決定、同世八分報告めり次いで階段の追溯的場

整理における米級の生態を確 り全国一致可決、七時世二分別含 かくと関係を終了一旦休息、原門

選権定、次いで常任委員の選組を 樂を行び、間日於三氏(石川)皆 競長職長馬に前を全席委員長の選

文権品のため強内につき内ケ瞬間

公三度明句、随日同長期語奉答 同二仕一分休憩、午後一時廿

市 深が提出されてあるが、真の狙 深が提出されてあるが、真の狙 不が提出されてあるが、真の狙 かは向う一年間圏内において地 かは向う一年間圏内において地 他の頭の暗思とか改弾すか、任 他の頭の暗思とか改弾すか、任

一、開餅における米級の上語を確保するための視泊金および企業の質問に没する無対の別源に充つるため公園的で充分の活動金および企業の質問に決する法律という。 四十、町村は七百五十が後留す 本た歳以再選帳、任別建長など は不砂合を戻す壁はないか で不砂合を戻す壁はないか で不砂合を戻す壁はないか

| 「「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「「大」」 「「大」」 「「大」」 「「大」」 「「大」」 「 大 」 「「大」」 「「大」」 「「大」」 「大」」 「「大」」 「大」」 「大

契約をなすで戻するの任温加第、豫算外頭面の負担となるべき

包計法改正委員包は午後七時間曾

2名特別會計像入該出資貸追

一般各案に對し質屈成相より提

「京京信は」十六日の歌歌屋海町 程より外交政策につき記明を四只今の秘密帝においては鈴木住一只今の秘密帝においては鈴木住 れる八月中旬から二十日間ばか 火華夏に延長する考へがあるか 火年夏に延長する考へがあるか 水年夏に延長する考へがあるか

殿會は午後二時五十一分開台、委

衆院豫算總會

観点し

員長、理事の互巡を行って直ちに

一、昭和十八年度據入该川高領資休息年後七時四十八分平門

改正委員會

陸海軍會計法

四に近いな行ふのは知つて陽繁明のと近いな行ふのは知つて陽繁明をは極いたりに、は思い明年九月初東のに近いな行ふのは知つて陽繁明をは一般ない。

旨を述べ岡九陽十二分取倒した取した

数を黎昭斯をして反動の命域なからしめてゐると必勝の信念を力能を黎昭斯をして反動の命域なからしめてゐると必勝の信念を力しなてゐると必勝の信念を力しない。 宮に報告せる以後の昼町作散の概要を左の如く報像報整相並に増田海相な十六日の登彩酬院本會顧 てゐる敵の反攻は日を追うて風熱化する情感にある、混刻なる局

强く並べると同時に類熱挽回を企闘し職力の境弱に全力を原生し

は合計一千三百六十一機、戦化し

戦況報告をする嶋田海相 五千二百餘機を撃墜

型、巡洋艦、駆逐艦名一架を継流し、さら 、飛行機計セ糖を駆逐し、さら

め永く後見を導くものである に守備部隊は勇猛なる山崎部隊長闘し大いに敵を震骸せしめたが多 の指揮下に壯烈なる最後の突撃を 南太平洋方面 ヤン諸島を奇撃占領したことは派 昨年六月四海軍部隊がアリユーシ アツツ島戦

ツツ島将兵の闘魂

かして酸の上陸に皆りては種々 側に任してある現地の医療な

面に移行して猛攻を加へ該方面の

に至り敵は攻撃軍點を南方中央正

地周邊の空の譲りを固めて敵の民度洋方面においては引続き占

を許さいるとくもに陸軍部隊

印度洋方面

南太平洋方面においては依然と

を に
労め四月以降大型輸送船の
一潜水艦をもつてする
政権・
労励の
日本の
日 呼吸し進んで敵の後方機亂、特定のなるビルマ國境方面作職に

北太平洋、アリユーシャン方面

北太平洋方面

ピルマ方面の敵は、線反攻の一項 として、宝づアキャブ歌回を呼続

ビルマ方面

に臨んだのである、最後の報告

面長制實施 邑面行政の刷新强化に乗出す

は震器を利用して大概アツツ

【東京電話】大阪電磁圏では來 **選養協力會議** 地域代表補充

ることゝし、諸殿の趣懶を進

は途に邑頭地方石政の刷新強化に

敵を返掘せしめたが、 上図印を阻止反駁し剪眼が なる皇軍の質問を遺憾なく疑

| 図 第一級行政の副新選化は決威半島| | 第一級行政の副新選化は決威半島|

大蔵集を業げ、表で四月七日フロ「総合すると観悠歌」と敵の飛行機・十五日乃至十七日ころ観覚は窓穴「悠久に生きる奉献をしみく一腕は「慶して乗子献近の決威をよしたこ」の彫力を返用してその眼がを聴露、手間を見る かってこの期間における戦果を めつこみのである。 に成立したことであらうか、質に ないか山崎部際長以下敵魔梁へ突。 の顔切なる計畫指派により敵反交 がしる大力が埋地を奪取するとで、アツツ腺性足が如何、口後の状況はもとより微敏のほか、もたるのみならず現地最高指揮官 かしる大力ではなって かってこの現間における戦果を めつこみの たんましょう 本語 は、一般して乗子献近の決威をなしたことの歌切をある計畫指派により敵反交 かん 一覧 かしる大力が埋地を奪取するに考してるるが、アツツ腺性足が如何、口後の状況はもとより微敏のほか もたるのみならず現地最高指揮官 かん となり 一般 かんてこの 現間とおける戦果を めつこみの たんましまり 一般 から変大力が埋地を奪取するに考しました。 新に副 綜合戰果

午四二千五百萬民の生活安定と貯

日端上映

本一個也忠北道德山面城內金本東 【孫軍】▲斯拾五個也平北道德山 西出版公立國民學校兒童一同 四古城公立國民學校兒童一同

い方針なので會議員翻討は四名城|日を押して変施する

○橋本文一▲廿五間也平北道巻山屋室1▲四十間也京城府孝子町五屋。 防 配款金 本社寄託献金

株式市況(計解)

あった朝鮮渓郷幽一石五十餘名は本のた朝鮮渓郷幽一石五十餘名は本主殿下御前出演の栗を賜ったほ 空監視所へ二千國の献金を行ひ、東京府時 の勇士慰問、産業既士慰安公演

内地での活躍

言おはす師に求みゆ

總計百十五萬二千二

〉推獎 讀書 三國商會株式

上約二百五十機、地上部

威時色で彩られた全戦の姿を見て

た、現在酸は一意わが銃撃を避け 南方の軍政 干脳の文人に及ぼした治果にも /れたのであるが、今年朝鮮

ロモン方面 南方軍政は引続之概ね職闘なる進

を日里で過し、臺雲に、個展に、 「ロンに活躍して、日本登場より のる原際吸氏は、十八日(金)のる原際吸氏は、十八日(金)











十七日對河京日交化映画劇場 するキャメラの現地報

内鮮文人による

大原體

交流の强化

るが、半島二千五百萬同胞諸治。人はないだらうか、御稷威の忝け。る銃砲厥は孝よりのこと、劉豫行年こそは決威の年だと宮はれて。る威時國民生活の質職に不十分な。とお職により、日迩職はれつゝあ

「億目標は内地の脳関照より二億多いが変

ためのその貯蓄の成力性を脱き『半島の

理院し、保管を固め、之に限ず、ようて脳を駆かの変方に関揮し得、跳ら平成んをうに合うだ。なると、直抵附兵の部態撤職とに、悪の終一つさへ我が顕上に見ない。

野番は戦争する

[2]

州化された『國防國家』が現出し

中等學校七十八校、約二萬

注ぐ烈々

海軍魂

學徒二萬 火と燃ゆ決意

各駐在所では座戦會を各部落毎に

火の玉と燃える

昨年九月十八日に制定され工場、

國際取士の金第――劉勢顧功章は「十五日の影響で『孤勢顧功章令』(東京範書)生産組織に接身する「て散闘されてゐるといふ立場から

者に限って去る二月十一日の紀元

に依つて一層観音化さずべく管下

員は八萬五千郡民に海の郡職を高

お百姓さんにも、金鵄

勤勞顯功章の授與、全産業陣へ

海兵志願續出

備立すべく第八十二臨時議會は十

本部、東京事務所の風景を読いて

の敬華、アツツ島二千餘の忠魂

全國民幣曲の裡に起ち上

みで一日中事務所に閉ぢ載つて所

を器でてゐる

正に火の玉議會

を以て一億一心完勝への大進短階

閣僚一同火の玉となっ

合を遂げ池帰全くなつて午後の西

響は夜に入って漸く白熱した職 【東京電話】場々たる電影のもと に十四日、十五日は轉手百舞の陣頭指揮に営り運ぶ、交渉、報告

會に

戦ふ總監

張切る本府東京事務所を覗く

こてお茶を吞か進らない意識

水ルモン割 維持強力

らんぐなどの肌は志願など類出し

不宗進軍尚

大阪・でド・街流

軍教用品

一式と木銃

戸

金山村祭町一二八 商

作者・釜山 二二〇四五番 H

に強へて米球が減の敵愾心を貯蓄に傾倒する山本元郎の球響、アツツ島に玉碎の将兵忠連 一般貯蓄強調運動」は戦ちてし止まむ年 人僅か五十圓だ 十二億。内地思へば恥かし

的語が如何にこの一殿の総果を左右させるか放送、ける部線をる実職段階に喧画して國民 十八日午後八時卅分から《貯蓄は勝利の鑑》 ル火蓋を切つたが、

・ 國民線力聯盟波田總長は までの脆さを忌憚なく聞いて、今年こそ十二

帰り、二千五百萬庁憲決職への總數起を促し

権職勝つ』といふやうな除りにも 煎茶を追り、薬舗 架な氣持で構へてゐる人がまだま な陸海路の勝利の快報が一 り諸成の大成果は今更これに申す らせる西南太平洋方面の腐児 の大戦界、又日々我々の胸で 一般へは

遊って居ることを我々に示して居 打ち立てる一大決戦がひしひした しかして今こそこの不動の勝利

楽上り人類の継术英を握り去っ「Graceつくまを見せっている」。 事質をなんと見られるだらうか「歌き上げる力を保たねばならね、 日の決閣は、國民の極力戰であつ て第一線將兵だけの受持ちではな 今となっては最早古めいた官の現 も所負より早く事務所に現れて一族院本會議に打ち揃って出席更にところへ更に拍車を加へ七日朝一倉を遂げ北州全くなこて午後でま

補鋭無比なる皇軍の勇敢奮闘によ うの履時氣分、決敗氣分になり切

に半島二千五百萬は、まだほんた

比較して見ても耐岡駅よりも二億

りも少くいことは、我々半局在内 の貯蓄撤任目標額が内地の一颗と

ナの削り物が届けられる たとひ一本でも感謝の念を 助を打倒てながら銃器

腸

國であつた、職争が帝國の勝利の

名付くべきほどのものを要しない であらうが、一城と一城との闘争

しての 諸要素を離へて 來るし

防しはそのまく出でて攻略力と化

一度宣成布告され

一地域の攻略占領域るや直ちに宜

日露役當時の熾烈な敵愾心

撫された戦國人を傾役しつく迅速

※確立、これが近代数の級温で W である。前者終了前後と大力である社組と同様 門である。前者終了前萬度協防器 がである。前者終了前萬度協防器 が

間の短かつたこと」氏器の未後適

純性との爲に今日私達が豫想する

って生産に從事し眼に見えざる思 し國内もまた厥時にして威略監制

に移向する、非殿職員は銃後にあ

いとして戦性の杉大を要求する、

勝域化は自然の野|

るにつれて所謂『郷力成』を構成から更に圏と圏との筆圏に後展す』

・ できる。 ですら高程度財働家権立を更添しに行ばれる。 して来るのである。 東はさる版 は際國の領土内と永て行ばれるか ひは、個勝別。 など、 ではこる。 ではる。 では。 ではる。 でしる。 ではる。 では。 ではる。 では。 ではる。 ではる。 ではる。 ではる。 では。 では。 では。 では。 では。 では。

一少なくとも自國領土外に於て果取一

ば融力競は第一次世界大戦と共に

近代戦こそ總力戦

人馬と人馬、部落と部落

百九十八四、陇出二億一千五十一

これが近代散なのだ、調力散な のだ、等を削ると否とを間はすず で一般を整確して散地に殺却す ると否とを同はず完全勝利目指 して國民の親てが戦争に陥っさ れるところに「滅力戦」の持つ れるところに「滅力戦」の持つ の威爭をみるなら解釋に基いて過去 それでもなほかつ日都戦争を完全| て當時の年度総豫領を勘案するな 間額なき 頭靭無比の 緊密性があ

つたといへよう、即ち明治卅八年

しては臨時に小資業者が指定さ

輪、指定間のない新設町會に翻 して野菜の配給と同じ方法で配 もつて、質味し、灼熱の南方爾 で微域する鼻虹將兵が偲ばれる

> 昭和十八年六月十五 西鮮重工業株式會計

日本一党の大奉仕特別 手紙大寶典



銃後の國民も一人残らずがこ 理 間を設けて十八日から二週一品味に於いて、今回更に貯蓄 だ、我等の務めだ』と感じ

五百萬を算へる朝鮮半島に於てそ

席の眼はハンカチに蔽はれてゐた 施與のうめき繋がもれ、 一瞬婦人

んがためである、然し冷酷に考へ

いふべきではないか、頭にも 段階下の國民として戦ろ不名場と

二億四の貯密を一日も早く達成せ

を納返し、蘇々たる武 ・南太平洋に

鐘淵紡績京城府中區南大 が移轉通知 株式會社朝鮮出張所門通一ノニ〇の難見監督













時ヨリ午後三時迄

高木化學製藥所

らい病新治療剤

場戰も上机 筆年萬宣

る、然し細性がなんだ、

明治薬業

道場落成記念試合

まで火花のやうな器器を避けた に期待しつゝ初夏の夜を深更近く を 海は男の征くところ。 と海軍時 血書して志願 節じてやりとげる、隣留は 水漬く屍の熱意

心願兵制發表に澎湃として通

定時總會

上つた半局背年の熟験に對し、

出受付を保始以來 vいまこそわれ 内各部察場では去る十日から志願

廿一日(海の記念日)にまた農林とするが適信省関係では來る七月

一餘名に上り、半局の底力を加致 映畫と愛國歌謠

傍瞟の盟邦使臣ら讃嘆の聲 続け、アツツの勇士に避けと東條して強ひついてゐる、山本元帥に 儲する、十六日夜七時半唐人里後 けてゐるが判罰き左配の場所で開 國歌
経暦順の官」は毎回好許を経 八日同龍江興保州

國民の強闘の結晶である、東條首 しめつく密議に没頭してあるその たあの施政流説を輸み 山回甲(『東)は去る五月廿五日午前 一台を盗んだほか、府内の銀行戦上道町杉本平吉さん所有の目戦害 九時卅分ごろ淡江通二郎便局 泉畿道坡州郡生れ孔湖外里世七夏 第 目標車ドロ龍山署へ

大の記言で 日かり

日本高大合資會社東京日本橋室町交叉駐角 金三十綾でお送り致します人だ演奏カタログ、小総哲人が演奏のという。選び方、連続哲

低裝網

の関係を言有せるの分で大部分かれて理由

の黄源を従らに死職してゐること を如實に物語つてゐるもので龍山 般家庭の多くが決成生活に他せ

防心得を配布

の署さが本格的になるにつれて 多大の破骸を埋へつゝある 強物チブスは 異常の要処

瓜虫の臓除と患者の早期登見、陽

品以外に役立たぬ金、白金に未 一にあって米だに日常生活

意識を嗅起してどしく。進んで供 もあつてはと一般の確固をる決成 な害も思いがこの自金が米英を 少年に施すため、男女子際力算機 成の切實さを解はられたときはな つて今日ほど銃後南少年の魅力練 作れ立派な體力を

邵和十八事 るためで、この際戦ふ國民とし一定を實施する、検定該指者は全統

TOTAL PROPERTY.

昭和十六年度各種の関本委員會を 語ならしめようと、京城府では 府政調査會を改組 内容を强化して活躍

に適切な機助狂

二、競疹チフスに広適切な歌助注解楽して競談します

の洗濯を断行しませう

谷垣龍山県長から贈られた二 江通二四五久保蔵吉さんは十六日

変をしませう 六、常に肌密の斑衣を駒行しませ ことではありません、防烈常番飯

盗難に現れた白金 くり同盟に挙出し戦金智能した

焼や動勢輸入等五十餘名の申込み

近福雄山蜀司法保に頭 龍山署で供出を各家庭へ飛檄 で高んで観察のお役に立てるべきだ 捨てよ敵性語 があり多数参加が希望されてゐる

々として金や白金製品

が上にも燃え立たせてあるとき、 ――◆ 業者に示達 資をとり混ぜた金六十二個廿六銭 三松田徳永氏も同じく一関十七銭

平然と解釈文字を使用してゐる際、京都解釈系を職員、生徒一同は電点、「現などがあるので降頭下式、単党や係拠を「解釈ンで時のた金」と、「職性解に、魅力を持つて使用す」が目示大側になつたので、十六日とは、 では去る十四日午後一時間内の用・部とりと献金客助したったと非國民も概だしいと献山艦、東大門壁を訪れる航空機製作の一



しきりに呼ぶんだ

うなやつが、張さん、お前の名を 「なにをよって、その歌歌みたや

は十五歳から廿一歳辺の青という。屋脇、短椒、投、黒、腹、低減を加け、土五歳から廿五歳までの者、女子。を表成した適切が利目で千米連行 から甘徳までの一般男子と全群男「女子にも行町、水泳の特殊板定から甘徳までの一般男子と全群男」で女子にも行町、水泳の特殊板定と二種に分け 女中等原被以上の在事生で男子は「を行ひ、其礎檢定には女子の問題」の「魅力な」は國民標準限力保持 検定合格者に總督章を授與 から始めて十一月までには全鮮の 検定の合格者には総督府からった ることになってゐる。なほ哺れの 過格者を一人も使れなく概定を終

> 館の名を呼ぶつて、おい、皮、 一瞬、暖三傑は、こつも工色に

新利紹介%

競京城夏川

十二指腸丸

青春座公演

けである『異異=艦力環機定ポス てめへい、加速な出頭目は止せる でから、だからよ、氣にしちや もう一度いって見る。派知しね

してゐる。一般及び中寧生は各道。定な七、八月中、茶碗級定は九月れも國民の中閣湾が年曆を到象と、建模定として男、女子共に特殊樹

墨、専門、師節校は各路校を戦

戦ふ府民の意氣昂場

廿日の日曜は親子健歩會へ

数の競技を擁する構造、減信、数

もういはねえよ。おいら、たゞ 張の極端に、以はわざと尻込み えよといってゐるんだと

小西六萬眞工業株式會社

に依要局が電源する、線定の管局、者やは影合で延期、甘日電協議機(り、こくで、発売すと、多路人へのなどは特に指定機能として男女米、域形主版・多学・恵札と婦人の概念・徳珍で統一事先の覆は波殿地に空からは特に 指定機能として男女米、域形主版・多学・恵札と婦人の概念・徳珍で統一事先の覆は波殿地に空から出版)。

制を前にレを半局者人の威威力を「于連れ或ひは兄弟姉妹、婦人が散」

要素る郊外に鍛へて集團厚生運動

モンペ姿で眠ふ京城府民の意気を

さくら

何目としては一般兵制と海南志原兵 地で行ふ、選しき初建の日曜を親

小週勤會に報へ、顧明に楽しむ、

加画紙

樂天堂製藥珠會社

甲斐計理事務

質倉庫を求む場所の中島では野野工作の外







医海上橋本吉 舘 中 塲 仕の内

華かなる幻想 日本ニュース り写修

大地の母といい 等的未更配法者 既即 定 村線研受根標本質 結解 立 金金金金金金金 大田府春元 Ħ

00-000-000-1

製造器 経験の専門 月やくといこうりお困り 毒劑八四 淋腸 風 劑 十八四 藥 十八円 ・機器を名息きながし絶を活象だるゆらあ よれらせ講を確認的意識すて捨る望布の・

東、源仁可地後以びとなた発展生態。この輸道がまるにわが仮大門區の「ど、そこで東大門區の部人口十四めてあるが、さて後者である情報。ばかり吹ぶ黴る像風も明かるい。 からは鯛路のそれに狙つてあるの ある概然は直ちに従來の屋敷を採 登場所を頼めて敷料器を使用して

てある【捕繍=建設に猟ふ襲艦】

塚戸籍課長、山口工營課長の錚々

変き

「さうだ。李娥を叛したのは、職

くどころぢゃあねえだらうか。

おいらと知って、

陸軍航空戦記 防諜線を1一ス日本ニュース 日本ニュース

立和平床里,提口。有層面丁製 時期需可含或平金者計量簡目終 時期軍六四。京稱本又三特責有

隋堂總務課長、大原財務課長、大 音も新らしい表札の「東大門原役 るのだ、その側肢を背負って木の

か。傾はそいつの戦のきいたん 「いや、出館目でなんかあるもの 張なうつろた笑ひ繋をあげて、

つたが、やつばり、へんに類になくでもねえ話をする気のやあなか 『た家に會つたお前に、こんなる

んからよ。駆く思はねえでおく

朝鮮樂劇團 中七日より密位語公司

た、東大門區よ、何處まで側展す

(中)

くしざうに苦うらし

日本ニュース 明朝 神田 大月―二王日本ニュース 明朝 神田 大坂四衆 の 若 人人 明本 人人 明本 一ユーエー

も関係の潜は建設の習習たかく といふ未來が残されてゐる、今

人いなる文(161) 中野 實(作)

電話服山電話装ります

小林商事命會社

朝鮮靴塗料等所

『東大門區』の建設の管だ、發展の響だ、洪龍下顕進の一途をたど

かしい解來は約束されてゐるとい

れ概この二者はこの医の名物とい 場の設置とにあると見てよい、こ の大學強科の創設とこの京城競馬 いやこの方面登展の契機は、前滅 の京城競馬場もこの區内にある。

つてよからう、しかしまたわが果

人門區は三分のところだ、あと七

カラントカテント健廃の質は強く強く関係に加きで高する。それは一個限を象徴する際に、この匿の縁

限りなき建設の跫音

巻の區門大東

れてはて人々は難くであらう、こかす養島三角洲帯の明潤。さうしまだしてあって大々は難くであらう、こかす養島三角洲帯の明潤。さうして東南にみはる

連峰の秀朝服々、智にひろがる松 性であるからだ、北に鬱ゆる北濱をたうさせたかり地域が暴闘に適 も敗て修悳ではない、何がこの地

で、さうし、一致、馬は駈ける、馬

朝

京日案内

サ日を自取機構選られたし面は 高女空楽程はこして静観音音楽 の女子を表現している。

| 東京上日』| 全日本 ニュース 日本 ニュース | 1-50 (全) 2 世 の 建 設 | 1-50 (全) 1 日本 ニュース | 1-50 (全) 1 日本 ニュース

事題動の民衆は熟狂に渦巻く、そ

是(W)生國の母性 國民總力朝鮮關 三〇(W)联办女性(韓四)中央 三〇(M)联办女性(韓四)中央

堪法してゐるのだが、かう駆けら 京城區法、女子師範等人の聚復が京城高騰、法縣攻門、管成集門、

七區の區勢を視る

[4]

この東大門區には大原豫科を初め

るからである

府内。學園の叢林

大京城、その京城の**『**おらが東大門區』の**貸**力を勝らう

里、崇仁町方面こそ『わが更大門

もつてあるか――肌ちその海原

この舗道の中間から敷岩町、新路

東大門區の東大門から清前里にか もし人々よ、京城に於いて最も近

今日この一角に立つたとき、その

年前にこのあたりを歩いた人々は の素明らしい質問なのだ。三、四

機能の除りにも急速なのにしばし

騰噪精坐していふ威を知らないで

な地帯は商業

御、山手的な地域は住宅街として

既器=第盗犯人を見事連捕した演 ッ天晴れ久保さん。 の中で特にライオン、スピード用利するやう観音に示遠したが、こ 一層に親り出す 選案者は即時間更を買ひ渡した、

では管内居住の婦女子に對しナバ ありと近稷町の京城府北部隣保館 **阪場生活の食踐は先づ顾語常用** 子は誰でも受謝出來るが良家の主管含を開催、湖十五歳以上の婦女 日から八月世ー日まで婦人國語識 保館で國語講習 計稷町の北部隣 干場のアンチャンが威勢の 「玉の海」など発放いた印刷るく往く、『名覧者』 整で /京城場所 / 初日 フレ太政が街頭

で『京城場所はウンとやり だ、人類者の横綱照隣は病 見出も釜山場所で角部、 切り振りは拠もしい【寫真 関取の休場はちよつと淋し 料のため今場所休場、照園

> と、儱を殺した奴は、この上海につたんだ。だんだんそばへ近づく にを云ってゐるんだか、翔らなか であ、聞きねえ。はじめは、な か知ってある。さらいふんだし

京の音楽を開きた。一斉村完備を発売した。

かも知れねえ、かも知れねえが はくくの製品、お前も年をとつ 云やあ、俺もさつきから、



貸衣裳躢關鄉

文明 制定文化 順報

● 野生 大時 別面 女優 歌 舞伎 関西女優 歌 舞伎 は尾 所 で 中 大明 二十 日 1 5 で

は京大学

マー坊の銀川原領隊 ホーム・グラフ

日曜祭日は午町十時年よ

建築修理域

日聊知水中 测的兵态水 中 测的兵

日本ニュ

学ちてし止まむ

行かねえらやあねえか。だから、 れこそ概を高くして腹るわけにも ゆくかどうかして、その正臘をは

類にしちやあいけねえより

日本窒素的支社

古本簡単を新加工を

金剛堂書店 華やかなる幻想

山地祭文·原安京殿 中,原安京殿 中,原安京殿

盟

シテ月出門二人・一覧

專 門 等



















竹田京允

各道力!ベイド助り。 協師代報用三番地 協師代報用三番地 (協師代報用三番地) 原北石神行教育的 (第一件改和日子神日の中職等及 (第一件改和日子神日の中職等及 (第一件改和日子中日の中職等及 (第一件改和日子中日の中職等及 (第一件改和日子日日の中職等及 (第一件改和日子日日の中職等及 (第一件改和日子日日の中職等及 (第一件改和日子日日の中職等及 (第一件改和日子日子日の中職等及 (第一件改和日子日子日の中職等及 (第一件改和日子日子日の中職等及 (第一件改和日子日子日の中 (第一件改和日子日子中 (第一件改和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公和日子日子 (第一件公日日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日日) (第一件公日) (第一件公日)

告故罐ト引替販賣ノ開始ニツキ

天皇陛下、開院式に行幸あらせらる(議事堂正面にて離常=誠常送)

八十二國時職會開院会は十六日・天井隆丁の歌賦を仰いで殿かに割て中二國時職會開院会は十六日・天井隆丁の歌賦を仰いて殿かに割 慢渥なる勅語を賜ふ らせられ、一旦便敗に入御、御先着の各国族殿下に御澍園ののさ

の職式自動車場神にて午前で降四十分変原御計門、李原院立行議る一年の日、天事陛下には敗兵御官建じて敷がならのとめ、緩紛禁を

原資料以下企開館、原、輸水循呼正開體長ならびに関田機構院職長伝えた、内ケ脳衝撃開端地離長に連織即付けられ年前十一時開展式

被いて佐々木貴族院副縣長恭しく御削に夢進、物院醫を拜受こと

陛下には諸負罪

れた

第個に関す一時十五分騰夷党後側、天梯遷しく信機に選挙あらせら一を指名してこれに財話、関本員會一

決定を行つため図十一時四十二

聖慮に報い奉らん

激、別下の時間に成する實際の重大なるを消散し、短期確實の本側、医師なる軌間を関り養裝所院廳員は有難等御野宗にひたすら恐傷監 式湯たる貴族院本會隆湯に慰臨、東保育相より率る勅語書を御手を

今で時局治ニ重大ナリ「宜シク億兆」心全力ヲ盡シラ敵國ノ非塁ヲ破碎スヘシ大東亜ノ建設日ヲ逐ヒテ進ミ友邦トノ締盟ハ益、固キヲ加フ除深ク之ヲ欣フ股カ外征ノ師ハ萬難ヲ排シラ隨處ニ勇戦奮闘愈、其ノ威武ヲ發揚セリ 而シテ除茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行と貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク に第八十二議會の開院式は罷りなく暖かに終了。

三提出センム・柳等克ク股カ意ヲ體シ和衷審議以テ協費ノ任ヲ竭サムコトヲ望除ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル追加鎌算案及法律案ヲ帝國議會股ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戦ノ目的ヲ遂成セムコトヲ期ス

SECE 用配式が駆行された。耐場 気が除まった、やがてゆるやかに 既稍相に離んで領制に勢越、最極、天息麾下の獣闘を仰き落って散 に現は礼た、式場は一段と黙慕の 中央主座に管御あらせられた、異

織に大御心を照れさせ 正面向って左方の御師がさつと開

| 時職會は関くも | 「東城的社局下名開始の数が大臣席」各屋接觸下屋従掘店されて出師、金銭切ってけふ十六日第八十二國 の最が開くと便職で採醐を終へた。御楽は、高松宮渡下をはじめ築り

離員最破職の裡に 天皇陛下に なる物語を賜ふ玉雷は森辰の気を に関し語り職長より十八名の委員 趣ののち、敷部皆を築り取無して

権るがし、朗々にして輝された、 衆議院本會議

各議員の意氣を反映して殆ど趣員 出席して午前十二時四十分開會、

離別, 以下企業整備など四特別委員長な 【東京電話】衆議院では十六日午 審議の効率化

隊司令訪土英地中海艦

性格を構びてあるので宣傳に跳起 ニュー氏ならびにサラジョグ

擊墜百七十三機

樞軸軍一週間の戦果

(ロード十四日同国) 西瀬市は安| 以降十三日までの一週間と ドイツ本土上雰四十 心殿院树敷, 地中

令の一部修正を被案し、十八時

権を環境、推議施設に扣害を現

お腱階機敷、地中

レフ開地區を結ぶ六十五キロの戦

四日早朝機烈な砲撃ののも弱車側・セマイコープを指揮、フ環空撃器・四日早朝機烈な砲撃ののも弱車側・セマイコープを指揮、フ環空撃器・

日同風」総統大

な反應を開始、威車、飛行機を緘

常聞を無し難り更に親しく

たい国宝り職権滅の問題は然 ら資屋が相に有機を御下問さへ

撤政史上かつて郷例を

獨、痛烈の反撃閉

ル郷回企圖は赤然一た、D、N、

速線監機線隊は千四日午後はじめ

島を再度强襲

フィターク少佐は十四日ドイツ空

一四四型 D·N·

【ペルリシ十五日同盟】 東部脱級 丁四日夜もボルガ河中流沿岸の要

消

革案原案通り決定 月に 開

一般と抗似中であった緻密原生地原、始下が、柳原に対いては八月中に一般を別解状態的微響につき風密管、リ幽舞的新郷度のもとに緊急を開いては、リ幽ないが、神経に対しては七月一日よりのでは、中央では七月一日よ のでこのほど時代した、繊維的でなほどは、現代のである。

取引種類について適宜等度が沸はれるとになってゐる

全百十三億・70なり、大艦内部に、照用に、関してに朝鮮の 特務報情(郷、勢力、資标および遺産などのしてこれが開発、開発に関するとになった。 古知郷は大田・東部 (東京) 日本十四個は次的、「東部員、異常校市・高とになった。 古原線に推断、関連、環境、有 の大部分は南部成別所名を決定するか。 古原線に維助、関連、環境、有 の大部分は南部成別所名を決定するが、 1 と称うなが、 2 が一般のの次で活動して、 2 を保証し、 2 の・1 日本十四個・ 3 加入艦隊の政大災素なるにかんが、 1 日本の次で活動して、 2 が一般のでは、 2 が一般しては、 2 が一般のでは、 2 が一般ので

って『顕漢統似法型精』を決定十

、爾曼に関する命令「戦光感は部下數十名をひきあて打が、今回の契例によ、が十四日米明同旅第一職第一際長から早急の文法が要」とにより士気とみに変突してゐたいのでは緩進者」とにより士気とみに変突してゐた のを敵災立第二十位は打職く敗職

敵營長投降

ドン間は四時半、ストツクホルム

が年に投降関係開營に参加して大

東部建設に適同する決定を按照し

でもなく、トルコ政府としてはあ はトルコ政府の招談に基いたもの

日本前時等 疲勞回復 機能賦活 ø 專門藥

職し、うち一隻を整次

・ は は ない は は は ない は は は ない ない は ない は

機を保護したが、福軸軍は隣横 一、反復軸切はカステル

解機二級を解除した

答でプリストルのプレンハイ・ 新協立締結

このミンを係日一味つの鼠腰師にのめば、「菱巻(野オドフリン) 原準項に返いて削費されたネオドラ 波蘭 野本 ドフリン

救 凾 **杜 鲁 名 鲁 木 大 田神东京**



國 國民貯蓄の必成に御協力なされる皆様方の御後援によ に國防 家庭に保険 國民貯蓄は保險から

り弊社の業績は倍々と進し最近では 保險契約總額 一ケ月契約増加 約十一億團七十五億餘圓

國民貯蓄増强のため基礎磐石の弊社の御利用を切にお

院に行って男と一緒に鉄成を受け

行っても正嫌選

鹽田農林局長 經際問題

する方の男が内側に行って暗感さ 一方を廻って唇しかうたなことを前数能で見いてみ感感するのに男うでないか、 (歌歌) 上天頭(企業)室を長 この間地、平は関助は解るないと思って一つ

指導者にその人を得よ

にある、そこまで行かなければ質

心法はない(実際)といふわけだ いる方の女が内地に行けないとい する方の男が内地に行って誘惑さ

を似て來たが

る。折角風被で聞えても家庭に国 と、立誠に関係で答へることがあ かういふことを朝鮮語で訊いてみ

てくれないかといって通識させる

て半島人の中に入つて民心を振ん

さんに数へて行く。一日一脳運動と一般に入れるといふのは祖常精度以一非常に感心した例がある だから大部分の魔対婦人といふも一貫演道にある魔場ですが、そこ

切なる希望が出てゐるわけです 居る、非常に男勝りで餓成を受け

徹底して行くと思ふ、感情も見し 指揮者その人を得れば

行って城心され、私も見に行つ

錬成の中心は國語

決戦半島の真姿の影響

ら指揮所で得、当にして配きたがらその仕上げを「顕成をやって二百三百ららも!」 りーミねこト・8 しりまい時代 の図紙販売で「郷」無二司以来を献成をし有資格(らわない、もう一人の方は一夜 感謝に関係が疑惑しつつあり、この図紙販売で「郷」無二司以来を献成をし有資格(らわない、もう一人の方は一夜 感謝に関係が疑惑しつつあり、この図紙販売の「と呼ん」と呼んでは、単名の「と明れています」というという。 Ξ

はない。」といふ頭硬で、一蹶女を一得るよ、郷蛇師によくなって來る | 鹽田氏・するといふのに腕かわるといふ法 | 瀬里で譲って來る、からいふ人を が頭をに出來するといふ法 | 瀬里で譲って來る、からいふ人を が頭をに出來

のもの比なるのではないが、今朝

場に行って、「今日の髑髏な何々」のもの比なるのではないか、今時「いと破底しないたらうと思ふ」「國祚だけ、相手は朝賦祚だけしか」は國際が懸みのどなと思うて婉拝、分なら「年間六百段順々れば相信」く、私共の趣颂指拠でもさうしな、駄目だ、今までのやうにとうもは「いらっしゃいませんといっ。これ」と説問するとで極に答べる。この「ひて國祚でやって行けは考えて行」にしても利手の解を据決なければし 森田內務省委員 なるわけですな、

朝鮮の錬成の中心は國語教育とい 本だといふ総 私は一 部

向うに反映させるためには、やは 醫林局長 企资室長 思ふ、こつちの心を本常に ||出席者||

てゐるといふことは一番いゝこと

「ロード」に出日開盟」 伊原司令部

(開金縣會獎)十

となりました

部落民達は例々配を合は

【東京電話】佛教を通じて日泰和

佛教親善使節

けふの市況

武官府へ寄せる献金怒福 件で六萬八千七ヨリー

大大 也九 也九

廿日の 海の記念日 を期して衰するため船員に對しては來る七

月の旅を狙した。

紋付に船の筒水除立つた大橋に一

順天七日間の力闘と皇軍の武運長 即氏が それく、 玉串を 華勇 田総強部長、相撲協善分陸周次

民間航空職員 船員にも授與民間航空職員

【ブエノスアイレス十五日间盟】

関民登録際極指導を行つてノ際北

七十三億突破

米五月の戰費

【大印】、頭尾登録はすでに質施さ 國民登錄指導

横綱ら神宮参拜 大相撲力士團けさ入城

廿四日から三越で 報道演習、展

週石 (六月號)

○○同令 第400点間 めとに残つたボーイング四にかか

「疫動えさる激烈な空中戦が展開されてゐる、壯熱といふか、藤田といふか文字通り決戦につく決職

しもいふべき波蔵波調なのである、しかも敵

笑止、敵の奇襲戦法

[1]

一番監を狙つたのですが分隊長の

今晩のラジオ

【思山】海の子を

海洋少年團結成 を記る記憶を記憶を含むませる。 を記る記憶を記憶を含むませる。 を記る記憶を記憶を含むませる。

光通 四 丁 万 唐 云

御地域下さい・

初明

か あの山越えて が調解性・ が調解性・ が調解性・ が調解性・ が調解性・ が調解性・ が調解性・ が調解性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ が関係性・ がのは がのは がのは がのれた。 がのれ

新利紹介旨

保

护崽 總督府刑務官練習所



後 國志 ஃற்க்.. 【171

俗に彼今 うて たが、に腹部

一六一五局本表代話電・二町金黄城京・買引取般一取朝 其待の他遇

人看守募集

志願方法 猪印のみとり粉本舗

其他の害虫製祭

*

盛上る半島の愛國心

式株

强

半島の子

変ので表、廿二日に山本元帥の<u>財</u>ので表、廿二日に海軍忠威兵部度**攻**

型軍新師の「四階で開催する ・ 国際で開催する ・ 国際で用作する ・ 国際で

大童で改善に着手

 への知識感が盛んであるとい
 の正しい道をこの一部の道を信じ 以常し合ってゐる。 つまりは《兵 長苑の指導者達の魏と力で県民へ

総督さんの警告に關係者恐縮

實物一變らず

樂草の增産へ少國民動員

半島蒼生日用薬の原料採取

逸に献身的努力をつくしつくある

十二時開演 京城寳塚劇場